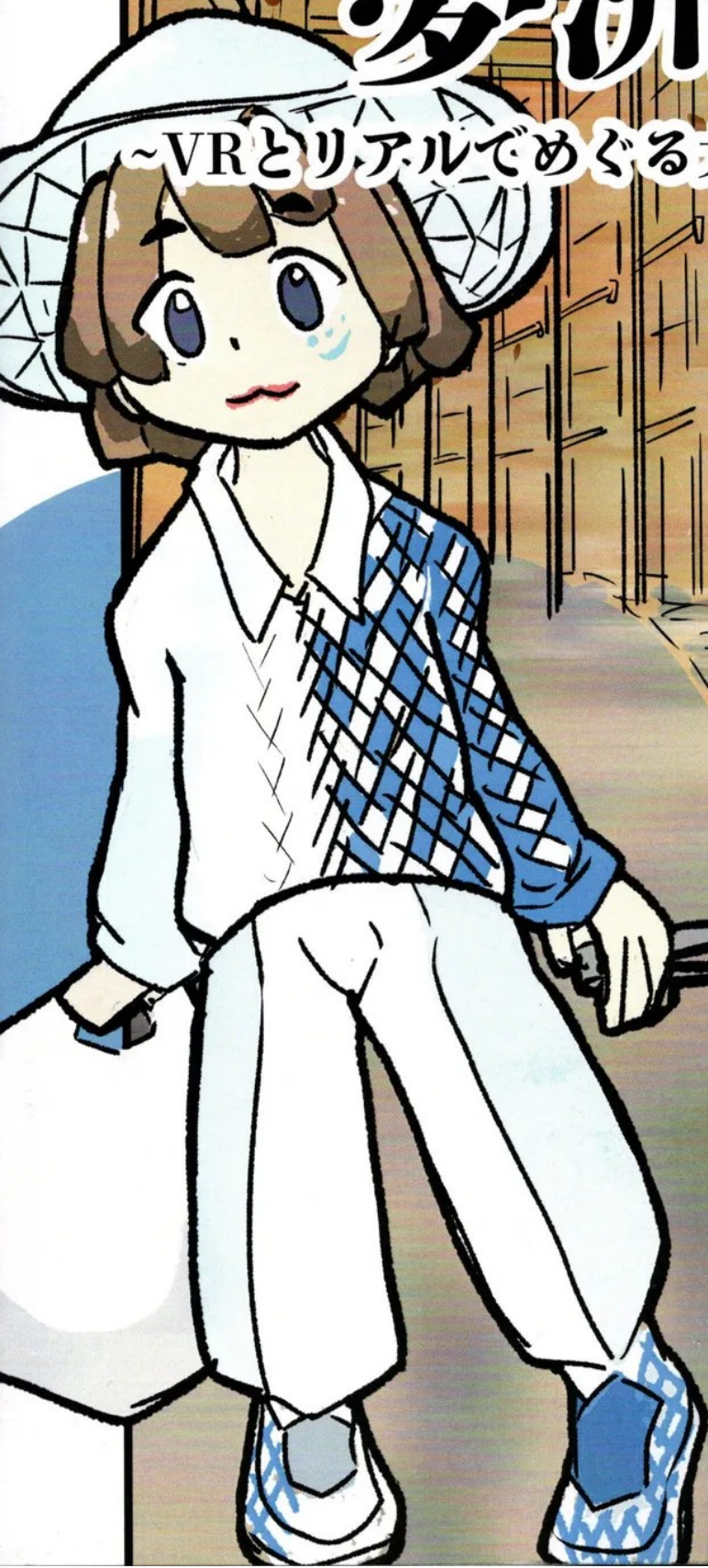


前略、

夢洲より。

~VRとリアルでめぐる大阪・関西万博~



るーとん/ROOTON

前略、夢洲より。

発行日:2025年11月16日(第1版)

印刷:株式会社プリントパック

発行:MELODYHOUSE

<https://me-house.jp/index.html>

mail@me-house.jp

※本誌に掲載する一切の文書・図版・イラスト等の形態や手段を問わず、
MELODYHOUSEの明示許諾なく無断転載することを禁ずる。



はじめに

2025 年 10 月 184 日間の日程を無事に
終え、大阪・関西万博が幕を閉じました。

いろいろな問題を抱えつつも、会場の中
身は数年いやもっと先の未来が学びの場と
してありました。ほんのりと元気でどこか
ワクワクするが空気が会場に満ちていたよ
うに感じます。

大阪・関西万博はパビリオンとして、V
R／ARが体験できる展示もありました。

▼命の連鎖とつながりを学ぶ360度迫力
の映像で体験する いのちめぐる冒険 超
時空シアター▼おばけに「変身」してなん
でも夢が叶っちゃう世界に遊びに行く お
ばけワンダーランド▼パビリオンの展示に
合わせ、季節に合わせた映像を組み合わせ、
ちょうちよに触れたりできる中国館▼アプ
リで景色を読み取ると公式キャラクターが
現れる「AR 海からミャクミャク出現中」

そのほかにも、自分をぐるっと3Dス
キャンして仮想のアバターを作ったり自分
の写真から、背景を変更したりして写真を
撮れる体験もありました。

みんなが同じものを見るのではなく、同
じパビリオンでも、スマートフォン片手にひ
とりひとりが違った選択違った体験をする
そんな『僕だけ』未来がもうそこまで迫っ
てきたのかもしれないね。

また他方で、『VR元年』なる言葉が言
われるようになり何年か経ちました。この
本を手にとった皆さんであればVRのすご
さ…実感していることでしょう。

遠く離れた世界中のお友達と離れていて
もお誕生日パーティーができる。一緒に話
して、飲み食いして、話している言葉はほ
ぼリアルタイムに翻訳され、音声は文字情
報になり話を「見る」こともできる。

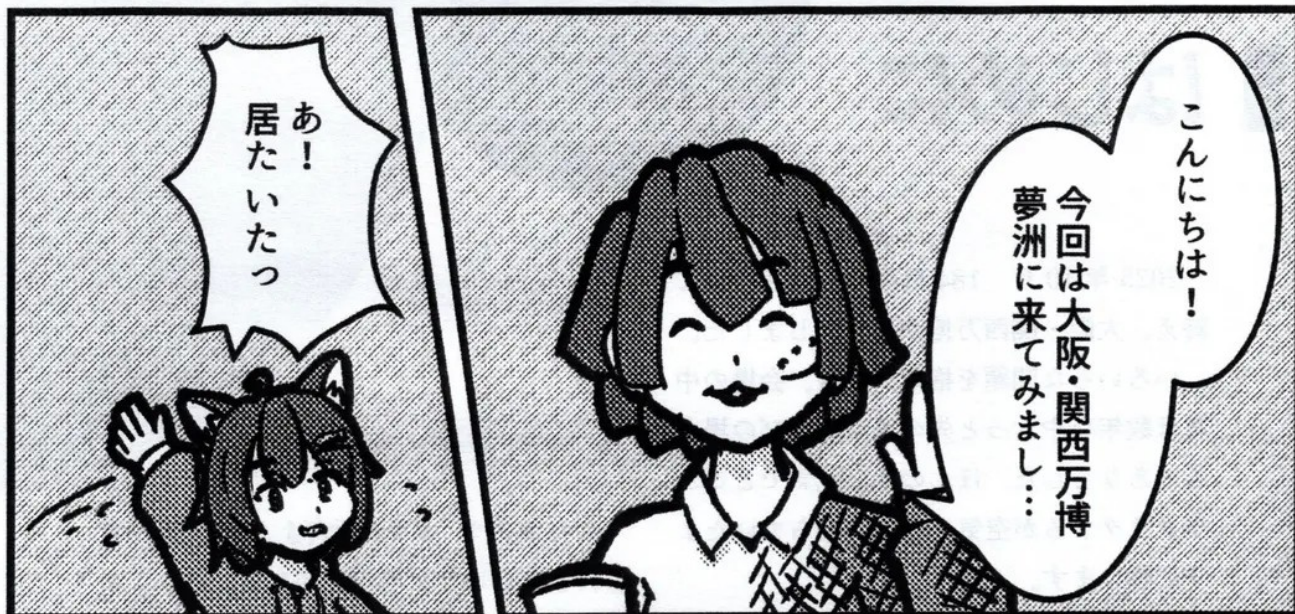
誰かが思い描いた未来の想像図を実現し
た世界は、当たり前になりつつあります。

今回、大阪・関西万博では初めての試み
があります。すべてのパビリオンをVRで
再現された『VIRTUAL EXPO 空飛ぶ夢洲』
です。VR端末、PC、携帯等からアクセ
スすることができました。

本誌では、そんな、パビリオンの一部を
紹介し、VRのそしてリアルでの体験を共
有できればと思っています。

2025.11 ROOTON

入場ゲート、東から入るか 西から入るか



※大阪・関西万博ではタクシー・バス・船向けの西ゲート/地下鉄利用者向けの東ゲートがあり指定予約の必要があったよ。
ちなみに、空飛ぶ夢洲にもエントランスの後、二つのゲートに分かれるんだ。ワープ機能はあるけど間違えると遠回りに。

も く じ

CONTENTS

● ドイツパビリオン

たくさんの わ! が繋げる・つながる未来の入り口から

● サウジアラビアパビリオン

EXPOのバトン、次の5年後へ迎え 海とオアシスの

● Dialogue Theater ーいのちのあかしー

静けさの森に近くたたずむ。郷愁を呼ぶ最新技術

● One World, One Planet. &アオと夜と虹のパレード

万博の夜を締めくくる同じだけど違う／異なるけど一つのショー



◀バーチャルのすがた
空飛ぶ夢洲の-avatar
くらげ館の帽が目印。

リアルのがた▶
VRChatの-avatar「ラスク」
眼鏡が本体。



本冊子は、バーチャル万博 ～空飛ぶ夢洲～、および大阪・関西万博の体験談をもとに書かれています。
冊子中では、本アプリのスクリーンショット画像を用いています。
ラスク -Rusk- 【Mobile/PC対応 オリジナル3Dモデル】の意匠を用いています。

ドイツパビリオン

 : わあ! そのサーキュラーのぬいぐるみいいね! 買ってきたの?

 : ええもう買えるだけ買いましたよ。ドイツパビリオンで…まさかパビリオン以上に売店も人気に出るなんてびっくり。

 : ちなみにこのパビリオンのテーマ「わ! ドイツ」わ から思い浮かべる単語…環とか輪とかいろんな意味を含む言葉なんだけど、循環をテーマにした展示だよ!



 : バーチャル万博では、最初びっくりしたよ〜。ゲートのその先がわからなくて、初めて行ったときは「あれ? 何もないのかな…」って素通りしちゃった。

 : 今回のバーチャル万博では、空飛ぶ夢洲で展示されてるのがほとんどだけ。このドイツパビリオンや他には未来の都市とかも別のシステムみたい。今回はそっちを回ってもらったけどもどうだったの? あ、先に注文しよか。ソーセージ食べる?

 : せっかくなら、おすすめのセットで…お芋の料理がおいしそうなんだよね。もう来た! あっ…これ好きな感じだ。



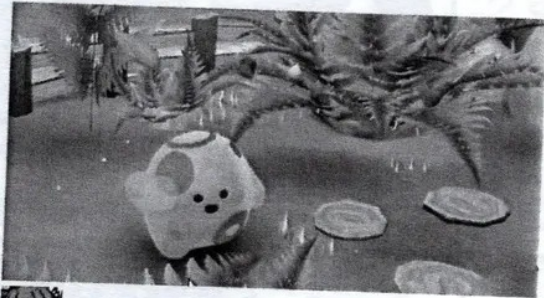
サーキュラーとわ! さがしの旅

 : ホームページが見られるだけなのかなと思ってたら色々あるって知って慌てて行ったよ! バーチャルではサーキュラーになって「わ!」を探しに行くの。

 : 四つ展示があるのは一緒だね…ええと 生物圏、循環型の暮らし、循環経済、循環経済の働きかけってというテーマなのはリアルもバーチャルも変わらないようだ。

 : 順番は違ったけどね。植物を育てるための土や水を集めたり、時間内にいろんな技術を集めて…っていうゲームがあったよ。操作も難しくなくて気軽楽しめたよ。

 : それとこの子が一緒に旅したサーキュラー! 丸い模様がかわいいでしょう!

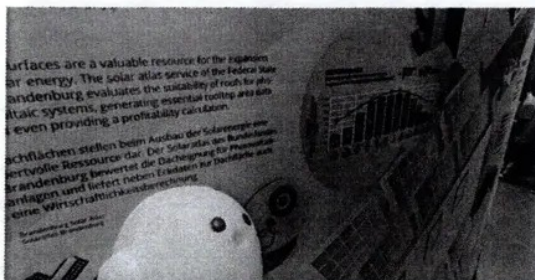


 : なんだと…模様が違う?! 見たことない模様もあるしもしかしたら毎回パターンが変わるのか? いちごいちえ?!

 : あとでもう一回最初からやってみたとき同じ模様にできなかったよ。多分…本当に自分だけのサーキュラーと一緒に旅する感じなのかも知れない。そうそう…じゃあそっちの展示物の話も聞かせてよ。

ちょっとひといい。ぐるぐる

 : ドイツパビリオンではこのサーキュラーが音声ガイド役。スマホで聞けるガイドが多くなったけど、ここでは博識なサーキュラーが詳しくお話ししてくれたよ。



 :書かれているテーマについてすごく詳しくお話してくれるから、気になったこと・興味のあることをピックアップして聞いたよ。ただ全部は聞けそうになかった。

田中：展示としては、「環境」「未来」をイメージしたものが多くてタッチパネルの選択によって映像が変わったり、循環経済へのアイデアを見るパネルがあったり。個人的に好きだったのは、サーキュラーのお部屋の床ごと回転するソファーかな。

 : 万博ってワクワクする展示が多いんだけどちょっとのんびり一息ついて…そんな気分を感じる落ち着いた座れるスペースだった。休憩大事。ゴクゴクゴク…

 : ビールもう一杯飲もうかな。なるほど。同じテーマだけど、VRとパビリオンでそれぞれ感じる印象が違うんだね。

同じキャラでも違う役割

：確かに。サーキュラは、VRではお友達から学ぶ側だったのが、パピリオンでは教えてくれる側になってたもんね。



：でもどっちもサーキュラーがメインに据えてあるのすごくいい！我慢できずに最後にはぬいぐるみかっちゃったもん。

: 全体として統一した感じがあっていいね。かわいい。バトルさせたい。

屋上庭園で市街を眺めろ！

 : あとは、最後の屋上のお庭だね。
体験とかもちろんいいんだけど、各国の
庭園とか植栽とか見ると、特徴があるのも
面白いね。もっとも…たまたま屋上上がった
タイミングで花火があがったのが思い出
に残ったってのもあるけど…。



 : VRから見ても、パビリオンから見ても「わ！ドイツ」っていうテーマをすごく感じたんだよね。和みの和なのかもしれないし、日本って意味の和なのかもしれない。テーマの中でそれぞれに合った展示内容、そして十人十色のサーキュラーが印象的なパビリオンだったね。じゃあ飲んだら次のパビリオンに行こうかな…

：もうパビリオン閉じ始めてるって。
明日も早くから行くんだし…あと一杯だけ
だよ。そしたらぼちぼち帰ろう。

：確かに！　じゃあラスト乾杯～！
やっぱソーセージもうめえ…



ドイツパビリオン

: わあ! そのサーキュラーのぬいぐるみいいね! 買ってきたの?

: ええもう買えるだけ買いましたよ。ドイツパビリオンで…まさかパビリオン以上に売店も人気に出るなんてびっくり。

: ちなみにこのパビリオンのテーマ「わ! ドイツ」わ から思い浮かべる単語…環とか輪とかいろんな意味を含む言葉なんだけど、循環をテーマにした展示だよ!



: バーチャル万博では、最初びっくりしたよ～。ゲートのその先がわからなくて、初めて行ったときは「あれ? 何もないのかな…」って素通りしちゃった。

: 今回のバーチャル万博では、空飛ぶ夢洲で展示されてるものがほとんどだけどここのドイツパビリオンや他には未来の都市とかも別のシステムみたい。今回はそっちを回ってもらったけどもどうだったの? あ、先に注文しよか。ソーセージ食べる?

: せっかくなら、おすすめのセットで…お芋の料理がおいしそうなんだよね。もう来た! あっ…これ好きな感じだ。



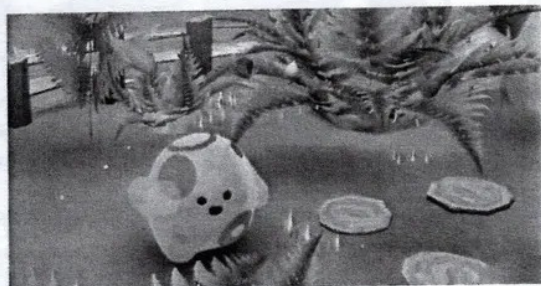
サーキュラーとわ! さがしめ旅

: ホームページが見られるだけなのかなと思ってたら色々あるって知って慌てて行ったよ! バーチャルではサーキュラーになって「わ!」を探しに行くの。

: 四つ展示があるのは一緒だね…ええと 生物圏、循環型の暮らし、循環経済、循環経済の働きかけっていうテーマなのはリアルもバーチャルも変わらないようだ。

: 順番は違ったけどね。植物を育てるための土や水を集めたり、時間内にいろんな技術を集めて…っていうゲームがあったよ。操作も難しくなくて気軽楽しめたよ。

: それとこの子が一緒に旅したサーキュラー! 丸い模様がかわいいでしょ!



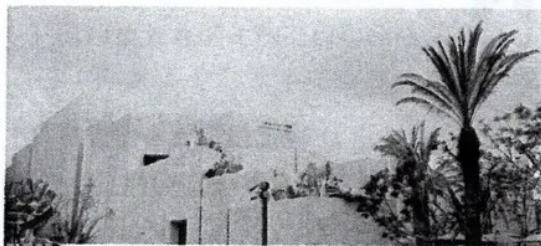
: なんだと…模様が違う?! 見たことない模様もあるしもしかしたら毎回パターンが変わるのか? いちごいちえ?!

: あとでもう一回最初からやってみたとき同じ模様にできなかったよ。多分…本当に自分だけのサーキュラーと一緒に旅する感じなのかも知れない。そうそう…じゃあそっちの展示物の話も聞かせてよ。

ちょっとひととき。ぐるぐる

: ドイツパビリオンではこのサーキュラーが音声ガイド役。スマホで聞けるガイドが多くなったけど、ここでは博識なサーキュラーが詳しくお話ししてくれたよ。

サウジアラビアパビリオン



 : ちょっとちょっと…そんなに急いでどこへ行くんだい?! まだ朝早いよ?!

 : …ええ、午前中は満員ですか。はい。あ、ごめん。レストラン入りたかったけど待機列はもう打ち切りだって。

 : レストラン……開店1時間前なのにもう埋まってるの?! すごくない?

 : 4月ぐらいは1時間前だったんだけど、今は遅くとも朝の9時までかな。

 : 9時オープンなのに?! ひょええ…SNSで話題になる前に行くの大事なんだ。

 : おまたせー! なんかほしいもの見つかった? 買ってきたから食べよっか。



 : ありがとー! お土産屋見てるときに並んでくれてありがとうね。サウジコーヒーはスパイスの香りがするね。

 : 目の前で入れてくれる様子がなんかよかったよ。あ、このラム肉のサンドイッチ…本当にラム肉?! うまい…うま。

 : 羊さんだよー。さてさて…サウジアラビアは、次回2030年のリヤド国際博覧会が行われる国でもあるよ。

 : 次の国際博覧会でも、つついバーチャルとかVRとか言っちゃうんだけど、メタバースを来場も想定しているみたいだね。さてさて、準備運動をしておきますか。

 : その前にも、幸せを創る明日の風景をテーマにした GREEN × EXPO 2027 や人類のためのあそびをテーマにしたベオグラード国際博覧会も控えてるよ。

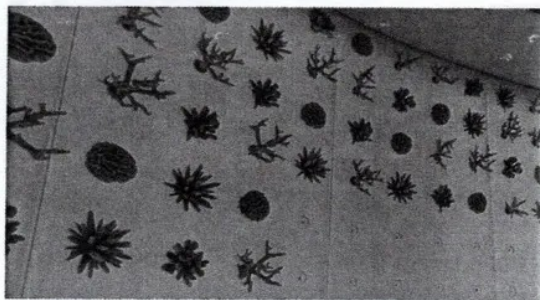
 : 日本では20年ぶりの万国博覧会だったのに次2年後?! もう毎年やろう。

 : さすがに毎年は…ええと、そういうことでパビリオンでもバーチャルな方でもとても力を入れた展示だったなって。

 : まず外観からして異国情緒漂うワクワク感があったよね。文化、自然、未来の大きく分けて3つの展示があったよ。

 : 遠方の国はなかなか行く機会がないからね。ネットで見る以上に、パビリオンで向こうの国の人が昔、今、未来を発信して知れるのはいいだなんて思うよ。

 : 印象に残ってるのは、3Dプリンタによるサンゴの生成の展示かな。



横の3Dプリンタで作られてて、この後も1個、2個と増えてくの…サンゴも増えていってほしいねって気持ちになったよ。

 : 日本館でも、3Dプリンタで作ったスツールとかあったよね。工芸とか目の前で作られるパビリオン内で物が作られているのっていい体験だよな。



：バーチャルでも…海の展示があったみたいだね。ツアーって形でマンタさんの背中に乗って、海中探索するんだっけ？

：バーチャルのパビリオンでは3つのツアーがあるんだ。街並みを見たり、未来の都市風景をみたり、海の中をもぐったり。やっぱり…海の展示ってのが結構意外だったなあって。中東の地域って砂漠とかのイメージが強いから、色鮮やかなお魚が泳いでサンゴ礁が…っていうのはこういう展示を通じて知ったってのもあるかも。

あとツアーの最後に鍵がつけられて入口の宝箱が開けられる仕組みもよかったね！

：日本が開催地ってのもあるけど、日本語でこういう世界各国の今や日本とのつながりがわかる、たのしく学べる展示って貴重だよな。普段は、テレビとか動画サイトとかでみるだけだからね。

：そういえば…パビリオンの展示物にアストロラーベあったよね。ええと…これこれ。8世紀って日本だと奈良時代？



：天動説、地動説…天体や星の観測技術、からくりのすごさを実感させられるね。日本だと、命がけで海外から技術を取

り入れ発展させてた頃かな。他にパビリオンで気になったこととして、文化的なことがあると思うんだけど書き文字を幾何学的に配置するの、すっごいおしゃれ。

：ピンバッチや首掛けのストラップ向こうの言葉とカタカナでサウジって書いてあるんだけど、文字の使い方が粋だなって思ったよ。買っちゃった！

：線と円の配置や組み合わせが美しいよね。日本でも書道とか、ひっくり返すと別の言葉になる文字とかあるけど、記号以上に美しさを見出す感じ。バーチャルでは、歴史を感じる展示とかはあったの？

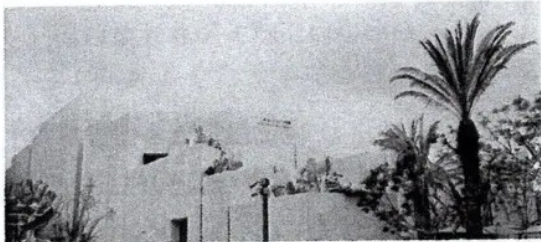
：Room1の岩に刻まれた彫刻のツアーだね。日干しレンガのこと、岩を掘り出して作られた墓のカスル・アル・ファリードを散策するよ。夜、松明をもって散策すると、壁面が光ったり、ろうそくがともったり。一つ一つの仕掛けがワクワクを高めてくれて冒険の感じがよかったよ！



：ろうそくで思い出したけど、パビリオンは夜になると建物の壁面をスクリーンにした展示もされてみたいだね。昼のシンプルだけど美しい建物も素敵だけど、夜の幻想的な雰囲気もみてみたいなあってバーチャルも合わせて思ったよ。

：バーチャルならいつでも行ける！って思うけど、それぞれ力入れてて、とても見ごたえあったよ時間がいくらあっても足りないね。じゃぁリアルも次いこうか…。

サウジアラビアパビリオン



キャラクター：ちょっとちょっと…そんなに急いでどこへ行くんだい?! まだ朝早いよ?!

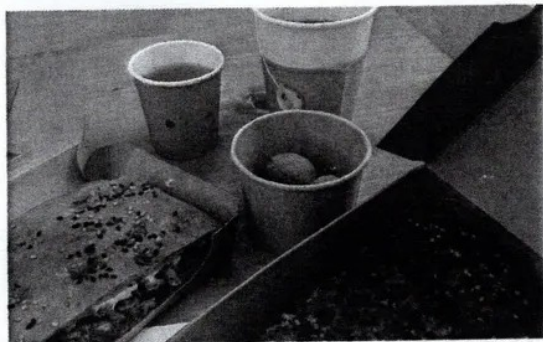
キャラクター：…ええ、午前中は満員ですか。はい。あ、ごめん。レストラン入りたかったけど待機列はもう打ち切りだって。

キャラクター：レストラン……開店1時間前なのにもう埋まってるの?! すごくない?

キャラクター：4月ぐらいは1時間前だったんだけど、今は遅くとも朝の9時までかな。

キャラクター：9時オープンなのに?! ひょええ…SNSで話題になる前に行くの大事なんだ。

キャラクター：おまたせー! なんかほしいものが見つかった? 買ってきたから食べよっか。



キャラクター：ありがとー! お土産屋見てるときに並んでくれてありがとうね。サウジコーヒーはスパイスの香りがするね。

キャラクター：目の前で入れてくれる様子がなんかよかったよ。あ、このラム肉のサンドイッチ…本当にラム肉?! うまい…うま。

キャラクター：羊さんだよー。さてさて…サウジアラビアは、次回2030年のリヤド国際博覧会が行われる国でもあるよ。

キャラクター：次の国際博覧会でも、つついバーチャルとかVRとか言っちゃうんだけど、メタバースを来場も想定しているみたいだね。さてさて、準備運動をしておきますか。

キャラクター：その前にも、幸せを創る明日の風景をテーマにしたGREEN×EXPO 2027や人類のためのあそびをテーマにしたベオグラード国際博覧会も控えてるよ。

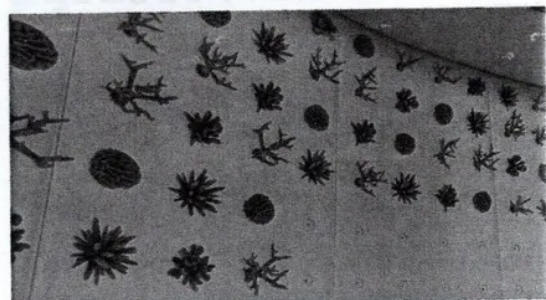
キャラクター：日本では20年ぶりの万国博覧会だったのに次2年後?! もう毎年やろう。

キャラクター：さすがに毎年は…ええと、そういうことでパビリオンでもバーチャルな方でもとても力を入れた展示だったなって。

キャラクター：まず外観からして異国情緒漂うワクワク感があったよね。文化、自然、未来の大きく分けて3つの展示があったよ。

キャラクター：遠方の国はなかなか行く機会がないからね。ネットで見る以上に、パビリオンで向こうの国の人々が昔、今、未来を発信して知れるのはいいだなんて思うよ。

キャラクター：印象に残ってるのは、3Dプリンタによるサンゴの生成の展示かな。



横の3Dプリンタで作られてて、この後も1個、2個と増えてくの…サンゴも増えていってほしいねって気持ちになったよ。

キャラクター：日本館でも、3Dプリンタで作ったスツールとかあったよね。工芸とか目の前で作られるパビリオン内で物が作られているのっていい体験だよ。



：バーチャルでも…海の展示があったみたいだね。ツアーって形でマンタさんの背中に乗って、海中探索するんだっけ？

：バーチャルのパビリオンでは3つのツアーがあるんだ。街並みを見たり、未来の都市風景をみたり、海の中をもぐったり。やっぱり…海の展示ってのが結構意外だったなあって。中東の地域って砂漠とかのイメージが強いから、色鮮やかなお魚が泳いでサンゴ礁が…っていうのはこういう展示を通じて知ったってのもあるかも。

あとツアーの最後に鍵がつけられて入口の宝箱が開けられる仕組みもよかったね！

：日本が開催地ってのもあるけど、日本語でこういう世界各国の今や日本とのつながりがわかる、たのしく学べる展示って貴重だよな。普段は、テレビとか動画サイトとかでみるだけだからね。

：そういえば…パビリオンの展示物にアストロラーベあったよね。ええと…これこれ。8世紀って日本だと奈良時代？



：天動説、地動説…天体や星の観測技術、からくりのすごさを実感させられるね。日本だと、命がけで海外から技術を取

り入れ発展させてた頃かな。他にパビリオンで気になったこととして、文化的なことがあると思うんだけど書き文字を幾何学的に配置するの、すっごいおしゃれ。

：ピンバッチや首掛けのストラップ向こうの言葉とカタカナでサウジって書いてあるんだけど、文字の使い方が粋だなって思ったよ。買っちゃった！

：線と円の配置や組み合わせが美しいよね。日本でも書道とか、ひっくり返すと別の言葉になる文字とかあるけど、記号以上に美しさを見出す感じ。バーチャルでは、歴史を感じる展示とかはあったの？

：Room1の岩に刻まれた彫刻のツアーだね。日干しレンガのこと、岩を掘り出して作られた墓のカスル・アル・ファリードを散策するよ。夜、松明をもって散策すると、壁面が光ったり、ろうそくがともったり。一つ一つの仕掛けがワクワクを高めてくれて冒険の感じがよかったよ！



：ろうそくで思い出したけど、パビリオンは夜になると建物の壁面をスクリーンにした展示もされてみたいだね。昼のシンプルだけど美しい建物も素敵だけど、夜の幻想的な雰囲気もみてみたいなあってバーチャルも合わせて思ったよ。

：バーチャルならいつでも行ける！って思うけど、それぞれ力入れてて、とても見ごたえあったよ時間がいくらあっても足りないね。じゃあリアルも次いこうか…。

Dialogue Theater —いのちのあかし—



 : いやあ……どこもかしこも人が多いねえ。この辺はちょっと静かなのかな。

 : 会場の中央、静けさの森の近くだからね。そして、これからお話したいのが、シグネチャーパビリオンについてだね。

 : プロデューサーが万博のテーマについて探求して表現したパビリオン…「いのち」への理解を深めるってスタンプ帳に書いてあるね。ここもパビリオンなんだね。

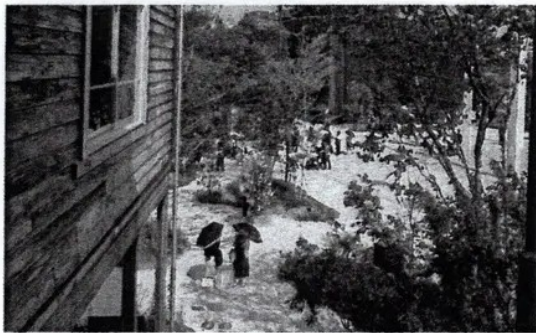
 : Dialogue Theater-いのちのあかし-だよ。大きなイチョウの樹、木造の学校の校舎が「最先端の技術」が並ぶ万博の中ではかえって不思議な感じだったね。

過去を振り返り未来へつながる

 : こうして見てみると、「過去を振り返って未来へつながる」ってことがテーマなんじゃないかなって思った。最初、画面に映った相手と「対話」をするらしいね。毎回違った対話が行われるって。僕が…もし当たったらどうしよう? ってドキドキしながらテーマのカードもらったよ。

 : 君、VRだとアイドルじゃなかった? まあいいや。そうなんだけど一つすごいところでね。1対1の対話の一つメインのコンテンツになるようになってるんだ。

 : 画面の前の人とお話ができそうな人がある程度選んでいるんだね。その中から一人、決めるみたいだね。20分の対話らしいけども対話にも敬語で話さないとか話にも色々決まりがあるみたい。その間、それ以外の人は、パビリオンの中の校舎を廻ったり、階段のぼったり説明を聞いたりするんだ。内から見ると森と一体に…



 : 選ばれなかった人でも、待ち時間に「どう思う」って話し合ってた瞬間が印象的だったな。対話テーマは「大人になったと感じた瞬間」だったけどどう思う?

 : えっ…?! 大根をおいしいと思えるようになったことかな。ずっと残してたんだけど、あ、おいしい、って思った。

 : 僕は免許とったときかなあ。車って大人が乗るってイメージがあったなあ。あと、古い校舎って聞いたから心配だったけどちゃんと冷房効いててよかったね。



：これも Dialogue Theater のすごいところだね。新しい部材や技術も使われているのに、時代を経てきた歴史を感じ取れるんだ。ガラス張り建物。最新のスピーカー、LED 照明、最新の映画館のシステム、高画質なリアルタイムカメラ映像…新しい技術が使われてるんだけど、注目されたのは校舎とかだったからね。そのまま木材を使ってるのはいいのかもしれない。

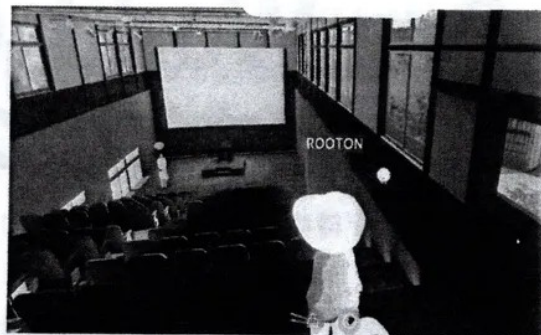
：これは他のパビリオンだけど HMD を双眼鏡と組み合わせ VR をのぞく行動を違和感なくす取り組みがあったんだ。

Dialogue Theater では講堂や教室が、自然と何をしなきゃいけないかっていうのを施設自体の記憶が伝えてる気もしたよ。

：バーチャル万博では、パビリオン周りのツアー、対話シアター、校舎移転のドキュメンタリーと同じ構成だね。プロデューサーみずからが紹介してるね。



：シグネチャーパビリオンは、バーチャル万博でも学びがあるし、パビリオンしながら実際に会場にいるような追体験ができるよ。Dialogue Theater では校舎についてのガイドがあって、梁とかも間近で見ることができるね。一方バーチャルでは、庭のこととかを説明してくれたよ。大きなイチョウのこととかもわかるし、万博では見られなかった一番きれいな景色をみれるんだ。対話シアターは中の雰囲気とかゆっくり見られて同じ体験をできるって印象だったかなと思うよ。



シンプルな演出ながら問いかけ

：バーチャルでは、最後ガラス張りの建物で映像を見るんだけどリアルでは、こちらの水面に顔を覗いてみてくださいって言われてたね。なんか、これまでのパビリオンとは一味違った充足感があったよ。



：対話を通じて、自分だったらどうだろうって考えたり、相手ならどう考えるだろうとか。「振り返る」ってことに面白味があるのかなって思ったよ。十人十色の過去があるはずでそれを対話として引っ張るかもしれないし、家族や友人同士での会話によるかもしれないし、自分の中かもしれないし。古い校舎と静かな環境っていうのが、喧噪あるいはにぎやかな万博のイメージとは違ってていたように感じたよ。

：イベントっていうよりはチルワールドとかホームワールドの感じかな。ゆっくり落ち着いた気持ちで考えられるような空間づくりや時間づくりが工夫されてると思った。一見、何もないって思っちゃうかもだけど、主体的にどう見つけていくのかってのも大事なもんね。

One World, One Planet. &アオと夜の虹のパレード

：一日を締めくくる夜のイベント！
噴水ショーとドローンショーだね。

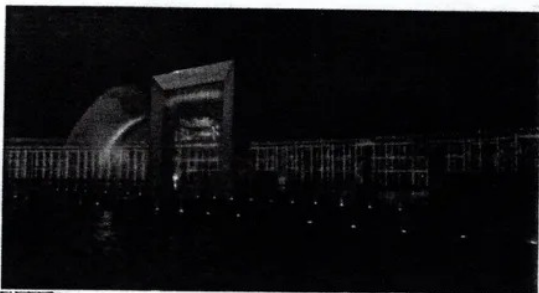
：大変だったね。予約が取れても一番真ん中の席の人气が高くて会期終盤には待ちの列が伸びていったんだよね。直前に並んだら、端っこの方になっちゃった。

：夜遅いし行くかで15分近く考えたもんね。結果として迷ってたのが転じてはベスポジで花火見られたからいいけど。

：あれ…冷静になると僕らそもそもバーチャルにいたはずがいつのまにか現地に？これは時空のゆがみが生じてない？

：しーっ… それは「万博だからそういうこともある！」だよ！

：…ガンダムのパビリオンでハロのイクスが言ったみたいなのをいうね。まあいいや。万博会場の中では、どのショーも予約観覧エリアや、大屋根リングの海の部分から見るのが定番だったよね。



：噴水の演出、水を巨大なスクリーンとして映像を映してたのには驚いたんだけど、水の噴射にもびっくりしたよ。さっき飛ばした水を次の瞬間、落ちてくるタイミングで打ち抜くような。技術すげーって。

：光の演出も、スポットライトにレーザーにプロジェクターに様々な表現を組み合わせてショーを作ってたのには驚くね。

青いすみきった星のキセキ

：このお話の主人公アオのにじまつりの歌に合わせて、動物たちがこだましてくれるところ思い出すなあ…。

：火を噴き始めたときには「えええ！」ってなったよ。熱が伝わってきて圧倒された…って感じだね。

：そーいえば、会場内では夕方から夜にかけて2回上映される噴水ショーの形だけど、バーチャル万博では、不思議な森の動物たちのパレードって感じだった。見れる時間に決まりはなくて、いつ行っても、あの不思議な島に来て、アオとおばけ？のドードーのいるあの島に迷い込むんだ。



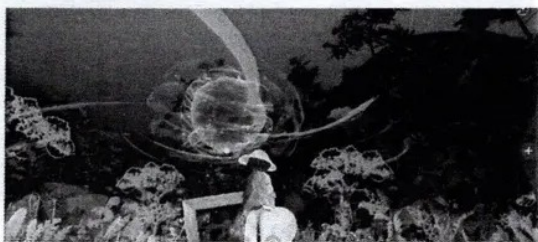
？？：オバケやない、精霊や！

：今の誰っ?! バーチャル会場では衣装や持ち物がゲットしたりできるんだけど、動物たちに扮して…って感じの仮装みたいで。で、アオもドードーもいるし、森の生き物たちも出てきて 歌で命がよみがえって、この流れはさっき噴水ショーで見たものと同じなんだよね。

：噴水ショーでは、光や水の美しさ、カッコよさに目が奪われがちなんだけどバーチャルのパレードではむしろ、一緒にパレードに参加してるみたいだね。VRでは結構あるけど、これって初めて触れる人にはすごいことかもしれないねって。

物語の目撃者から参加者へと

：今回の万博は主体的に物語の選択に関わってくパビリオンがたくさんあったと思うよ。主体的にかかわっていくことで物語が進んでくのはバーチャルな世界で得意なことだよ。ヘッドマウントディスプレイで日々VRにいそしむ僕たち以外普通の人にも、「ピコピコするゲーム」という認識を超えたらいいな。



：あとね構成…って言うのかな。太古から続く命の連続、滅び、一夜限りの饗宴が生まれる感動があってバーチャルではストーリーや世界観に、ショーでは光や音楽に強く惹かれる気がするね。

：どちらのワールドでもアオやドードーがいてバーチャル・現実のへだてなく別々に作られたものではなく、1つの世界だなんて強く思ったよ。そうそう、会場の様子なんだけども閉幕から1月がたった、2025年の11月に公式アーカイブ映像公開されてたんだよね。



EXPO2025「アオと夜の虹のパレード」公式アーカイブ映像▲

：見たみた！ 恐ろしい高音質でぶわっと来たよ。空撮したり、色んな構図から撮影されてるんだよね。実際に予約して見に行った時は一つの場所からしか見れないから、また違った発見があったよ。見に行ったことがある人は観て！ まだ見れなかったよ…って人も調べて見に行ってみてほしいよ。噴水？って思うかもしれないけど、光と映像、世界観合わせて。

リアル・バーチャルでひとつのイベント

：世界っていうと、噴水ショーのあの One World, One Planet. 光の点がゆっくり動くから、のんびりした演出だと思っていたら実はとても大きかったんだね。気づかなかったスケールを感じた。



：大屋根リングの上、西ゲートの近くから見てもあのドローンの光見えたね。ちなみに、このショーは全部みたかい？

：全部？ 最終日のドローンショーは言ってないから、映像だけで…

：実は、ドローンショーは演目の一つで、EXPO ホールや、会場のサイネージ、バーチャル会場すべて含めてイベントが One World, One Planet. なんだよ！



：えっ？！そうだったの？！でもいわれれば確かに、アナウンスも地球共感覚セレモニーっていった気がする。

：リアルでもバーチャルも合わせて一つのイベントとして開催する…他のパビリオンでは時間を問わずに見れるところが多いけども、One World, One Planet. では時間になると参加できるイベントなんだ。ちなみに行った時にはインスタンス180人を超えていたよ。盛況っぷりがわかるけど、大人数に少しびびったよ。

ア：180人?!VRChatの人気イベントでもなかなか見られない規模じゃないか！
すごく挑戦的な取組みをしていたんだね…

願いを上げから・根元からみる一体感

ア：ドローンのショーを見たときには、大樹のシーンが印象深いか。色とりどりの玉があって大きな樹の前に集まって高く空の上から願いを飛ばして届ける。願いを空に浮かんでるのかなって。ここ好き。



ア：確かに。灯籠とか明かりってこう心に響くものがあるからね。一方で、バーチャル会場では大きな樹の周りでシャボン玉なのかな… ちょうどこのタイミングくらいで願い——wishが会場からたくさん届いていたよ。浮かび上がっていたカラフルな玉はバーチャル会場でみんなが届けた願いが移っているのかもしれないね…。



ア：あっ…なるほど！そういうことか！バーチャルは、大樹の周り浮かんで見渡すように空から願いを届けているんだね。一方で会場内では、大樹の根元に集って、見上げて眺めているのか！ 全く違う環境・会場で、同じ時間に一つのセレモニーを見るのか…。すごい時代になったもんだ。

目と曲 ニーゼロニーゴ

ア：ドローンショーとバーチャル会場に注目したけど、他にもEXPOホールのシャインハットや、イタリア館の近くのキューブのモニターに映った映像も同時時間帯に流れているから全部見切れないね！



ア：本当に目がいくつあっても足らな…ハッ万博のキャラクターは目がいっぱいあったけどもしかしてそういうこと？！

ア：お前をずっと見ていたぞ！今回の万博まとめていくね。全部見るのは難しいけど、皆が各々の体験してるなって感じた。

ア：同じパビリオンでも散策したり、感じ方によっても変わる演出があったから同行してても違った体験になるしね。

ア：でもテーマやメッセージを通じて、「違っててもひとつ」というのも感じた。

ア：大屋根リングもありとあらゆるパビリオンをぐるっと囲み包み込む。みんな違った体験になるし。同じ体験はないはずなんだけど「万博行った！」になる不思議な体験だったね！ また体験したいな。

ア：この半年限りの思い出がこの先何年も思い出されるんだよ…2005年の万博

ア：あっ！やばい…もうこんな時間?! そろそろ帰らなきゃやばくない?!

ア：ホントだ！ゆっくり急ごう…では皆さん、本当に…

ア：ありがとうございました！！

おわり